

シンポジウム

I. 新農薬創製への展望

農薬バイオサイエンス研究会 主催
オーガナイザー 宮下正弘 (京都大学)

平成24年3月15日 (木) A会場 (岡山大学一般教育A棟4階 A41教室)

1. 大野竜太 ((財)相模中央化学研究所) 13:30-14:05
近年特許公開された農薬活性化合物 -作用性と化学構造による分類-
2. 丹羽隆介 (筑波大学) 14:05-14:40
昆虫脱皮ホルモン合成酵素の同定とその応用展開の可能性
3. 泉津弘佑 (滋賀県立大学) 14:40-15:15
植物病原糸状菌の細胞内シグナル伝達機構 -トウモロコシごま葉枯病菌と灰色かび病菌の研究から-
- 休憩 15:15-15:30
4. 古本 強 (広島大学) 15:30-16:05
プラスチド局在ナトリウム依存性ピルビン酸輸送体の同定とその後
5. 河岸洋和 (静岡大学) 16:05-16:40
キノコが作物を育てる?! -フェアリーリングの化学的解明とそのフェアリー (妖精)の農業への応用の可能性-

Ⅱ. 農薬の毒性評価とリスク・コミュニケーションの最近の動向

農薬レギュラトリーサイエンス研究会 共催

オーガナイザー:稲若邦文(住友化学(株))

平成24年3月16日(金) A会場(岡山大学一般教育A棟4階 A41教室)

1. 畝山智香子(国立医薬品食品衛生研究所) 13:30-14:05
食品安全リスク分析の視点から農薬を含む食品中化学物質のリスクを考える
2. 鈴木勝士(日本獣医生命科学大学名誉教授) 14:05-14:40
日本の農薬登録におけるガイドラインスタディとMOA研究のあり方
ー食品安全委員会農薬専門調査会での経験ー
3. 寺本昭二((財)残留農薬研究所) 14:40-15:15
農薬の安全性評価に係わる毒性試験法ならびに最近の動向
- 休憩 15:15-15:30
4. 鰐淵英機(大阪市立大学) 15:30-16:05
化学発がんに関する考え方ならびに最近の動向
5. 稲若邦文(住友化学(株)) 16:05-16:40
毒性とエピジェネティクスに関する最近の話題